



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.com>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 目 1 第 2 回役員会の開催 | 4 組合員 3 名が全国表彰! |
| 2 「林業まつり」3.8 万名の人出!! | 5 お知らせ・会議・イベント等 |
| 次 3 やまがた環境展 2015 | 6 9 月期住宅着工状況 |



1 第 2 回役員会開催される!!

10 月 22 日(木)に山形市内のホテルメトロポリタン山形会議室において、第 2 回木産協役員会が開催され、21 名中 17 名が出席した。議題は、急激に変化しつつある木材産業を取り巻く状況の変化への認識の共有や本年度事業の進捗状況の報告、組織的課題についての意見交換等である。以下主要点について報告する。



挨拶する阿部理事長

(1) 業界を取り巻く状況について

- ① 複数の調査機関が近い将来において住宅着工数の大幅減少を予測していること。
- ② TPP の交渉の結果により、6~8%の関税ではあるが海外合板及び 2×4 工法の SPF 材の関税が引き下げられ、現在、住宅着工数で勢いのある 2×4 工法住宅が一層有利になること。
- ③ 木質バイオマス発電の計画が次々と発表され、その必要量は 30 万 t/年を上回る状況であり、C・D 材の安定供給については現状では困難が予想され、素材生産理事から木産協として、一本化した対応をとる申し合わせをしたことが報告された。県内素材生産量については、推定値で約 36 万 m³ であり、その半数以上を木産協組合員が生産していること等が報告され、素材から住宅関連産業まで幅広い業界を網羅している木産協の果たすべき責任が大きいこと、事態を乗り切る方策や事業展開の方向性等についても意見を交換した。



理事の発言状況

(2) 組織状況

年度当初は 149 事業体であったが、7 事業体が加入し 2 事業体が脱退(事業撤退)したことから、現在、154 事業体(出資口数 1583 口、賛助会員 5 社・団体)となっている。さらに、現在 4 事業体から入会の打診があることが報告された。(集成材製造、素材生産、チップ生産、木材販売の各事業体)

その他、組合費未払い事業体(置賜地方の 1 社)についての取り扱いについても協議され三役預かりとなった。

(3) 本年度事業の進捗状況 (9月末現在、概ね順調であるがもう一步の踏み出しが大切)

事業名	現 状		今後の対応等	
1 木造住宅等地域材利用拡大事業	木産協始まって以来の大型ソフト事業。約半年で実施する地域材の普及啓発を従来よりインパクトのある形で追及した。11月5日の利用推進協議会開催で終了。			
	取り組み	内容		
	① 木と共に生きる「匠」の紹介	新聞(20万部)1面カラー4回・12名		
	② 森林・木造住宅体感バスツアー	2回・約50名参加(伐採～建築現場視察)、新聞で1回報告。		
	③ 普及啓発木製品の試作と配布	地域材を使い、授産施設等活用し、団扇・パズル等6種類		
	④ 木産協等の普及啓発チラシ作成	イベント等で配布する地域材や木産協等団体PR用チラシ		
	⑤ 木造住宅PRパンフレット作成	県内各地の地域材を活用した住宅パンフを県内外に配布		
	⑥ TV番組の制作と放映	地域材や利用技術、木造等を映像化してPR。9月26日放映		
	⑦ 常設展示と人気コメディアンによるPR	郊外型ショッピングセンターにおける展示と啓発イベント		
	⑧ イベントでの構造躯体展示によるPR	県内外の主要イベントでの実物構造躯体の展示。		
2 森林資源循環利用促進事業等の素材の共同販売事業	事業名	用材種類	計画(m3) 実績	○県事業は、殆どが森林経営計画林分からの出材。内合板関係は工場側からの入荷制限で苦労している。 ○鶴岡バイオマス等へは全て間伐由来材を納材。 ○集成材用材もモデル的に出荷を開始。
	① 森林資源循環利用促進事業(県事業)	合板用材	8,000 4,000	
		発電用バイオマス	700 0	
		熱利用バイオマス	4,800 2,122	
		小計	13,500 6,122	
	② 合板用材(木産協単独)		2,000 1,728	
	③ 鶴岡バイオマス等(同)		6,000t 2,876t	
	④ 集成材用材(同)		1,200 103	
3 合法木材認定事業	9月17日に、更新43名、新規認定10名の研修実施。他講演会のみ受講10名。責任者の受講や申請書内容の要件を満たした事業体の認定手続きを実施中。		未受講者7名は必要の有無を確認し、12月初旬に再研修実施予定。	
4 各種研修事業	名称	内 容	激動の時代の中で、多岐にわたる分野の組合員が存在する木産協は、研修会等が足りない感じがある。時代を乗り切るためにもっと学ぶことが大切です。12～13日の協和木材の研修会には是非ご参加下さい。	
	① 青年部研修会	8.28～29。若手組合員自主研修会。天童木工等の視察や木遣い全国キャラバン参加		
	② 合法木材研修会	上記3の研修会 12月に再研修会を予定。		
	③ 木産協先進地研修会	11.12～13に実施予定。協和木材工場や南陽市文化会館の視察研修会。宿舎では意見交換会実施する。		
5 木産協福利厚生事業	種類 (ギフト等申込は同封してあります)	有利な価格や制度です。是非、一度お試し下さい。		
	① 丸大冬のギフトセット・家庭用常備薬の斡旋			
	② 全木連生命共済(中型グループ共済) ➡ 近代的企業は必須			

(4) 新たな取り組み紹介(一部)

1	プレカット事業体の取り組み	組合員のプレカット事業体が連絡協議会組織結成し、次代の対策を検討することになった。木産協はその事務を受託する。
2	乾燥JAS工場認定に対する支援	公共建築物建築の際に、乾燥JAS製材品の指定が増える傾向があり、県内各地域の主要メンバーが、生産体制の強化に動きつつあり木産協も支援することになっている。
3	木産協による「薪」の斡旋について	自然志向の強まりと共に、「薪」需要が拡大しており、木産協でも組合員の生産する「薪」について、HP等で大々的にPRし取り次ぐことにした。関心のある方はご連絡願います。

2 「第25回県林業まつり」3万8千名の人出!!

10月17～18日に、天童市にある県総合運動公園特設駐車場を会場に、標記林業まつりが開催され、晴天にも恵まれ、昨年を上回る3万8千名の入場者で賑った。

本年度の新たな取組としては、地域材活用の住宅・事務所・太陽光発電の設置台等の構造躯体の大規模な展示(5社)や、山形技能五輪 PR 関連の木工工作 TENT、芸術工科大学グループや小規模出展者等も加わり展示の幅が拡大したほか、ステージ以外のエリアを使ったアトラクション(長井のケン玉プロジェクト)や、震災被災地で町が分断されている福島県の川俣町の「山木屋太鼓」も立派な演奏を行っていただいた。

このような取り組みの結果、出展TENT数は90TENT(小86・大4、ステージ控えTENT等除き)となり、昨年度を上回った。11月30日に実績報告会を行い、本年度の反省や次年度に向けた検討を行うことにしている。



提案する阿部理事長



建前餅まき



酒田きやり唄



山木屋太鼓



木産協木材クイズ



こども青空木工教室



木製遊具状況



管理署木工体験



構造躯体と木製大型昆虫

3 やまがた環境展 2015 に参加!!

10月24～25日にかけて、山形市の国際交流プラザ（山形ビッグウイング）において、「やまがた環境展 2015」が開催され、木産協も、組合員の協力を得ながら出展参加した。

木産協ブースでは、木材クイズ、木造住宅の良さ等のパネル展示及び住宅カタログ・チラシの配布・説明や木製巨大昆虫模型等を展示した。組合員等は地域材の構造躯体の展示と建前餅まき、長井市のケン玉グループによる木に親しむイベント、木育積木遊び、杉材の高度加工製品等の展示や説明等を行い、環境にやさしい地域材の普及啓発を実施したもので、大いに盛り上がった。（入場者約14,000名）

また、木造住宅等地域材利用拡大事業の最後の取組としても実施したもの。

このイベントでは、農林関係の林業まつりとは趣が異なり、エネルギーや自然環境、リサイクル等の技術や製品展示、体験等が広く行われており、今後のイベント等を企画する上で、木材業界として大変参考になるものがあった。



建前餅まき(右は阿部理事長)



ケン玉で遊ぶ子供たち



木育積木で遊ぶ



木製大型昆虫模型で遊ぶ

4 第50回全国木材産業振興大会の席上県木産協三氏が受賞

10月29日に、三重県津市で開催され、全国より800名が結集した、標記振興大会において、前理事長沖田純夫氏、前監査役松田喜美男氏、現副理事長相田吉則氏が、全国組織、県組織運営の長年の功績により全国団体長表彰を受賞した。誠にありがとうございます。



沖田純夫前理事長 退任団体長賞受賞



相田吉則副理事長 全木連会長賞受賞

5 お知らせ、会議・イベント等

<p>(1) 山形県地域材利用推進協議会 日時：平成27年11月5日(木) 15時～ 会場：山形市内催事場 内容：木造住宅地域材利用拡大事業での取り組み結果等について評価・検証する。 その他：委員の方には、別途御連絡を差し上げます。</p>
<p>(2) 「知事を囲んでの意見交換会」 日時：平成27年11月11日(水)16時～19時 会場：ホテルメトロポリタン山形 内容：山形創生総合戦略が発表され、その八策の2番目に、【森のエネルギー、森の恵みを活かし、「やまがた森林ノミクス」を推進】とあることから、本年度の発表は、県木産協が行うことになったもの。知事の出席の下、組合の現状や課題報告、県への要望等について要請する。意見発表については、例年2～3業界から報告する。 その他：理事長、副理事長、専務理事が出席予定</p>
<p>(3) 木産協先進地視察研修会 日時：平成27年11月12日(木)～13日(金) 会場：福島県塙町の協和木材、南陽市文化会館等 内容：県内に進出する協和木材の製造技術及び素材入荷システムや国内最大級の木造文化施設に関する理解を深める。また、遠距離になることから宿泊研修とし、情報交換会等も実施する。中小企業中央会事業等の取組によりバスをチャーターしますので、多くの組合員がご参加下さる様ご案内します。詳細は参加者に御連絡します。</p>
<p>(4) 木質バイオマス活用に関するシンポジウムの開催 日時：平成27年11月16日(月)13時30分～ 会場：櫛引公民館(鶴岡市上山添字文栄100) 主催：鶴岡バイオマス協議会 (共催：山形県・鶴岡市) 内容：ア 基調講演 「仮題：林業のポテンシャルと課題」講師 梶山恵司氏 イ パネルディスカッション 古川和史庄内総合支庁森林整備課長他、4名。 ※ 参加希望は、11月10日まで、木産協宛て、御連絡願います。</p>
<p>(5) 第3回地域材安定供給体制整備検討会の開催 日時：平成27年11月24日(火) 13時～15時 会場：ノースジャパン素材流通協同組合(岩手県盛岡市) 内容：木質バイオマス発電及び集成材工場の進出により、大量の素材需要が生ずるが、県内資源の安定供給体制づくりを推進するために、先進事例の研究を行うもの。理事長等出席予定。</p>
<p>(6) 第25回山形県林業まつり実績報告会 日時：平成27年11月30日(月)16時～ 会場：ホテルキャッスル会議室 内容：10月17～18日にかけて、天童市にある県総合運動公園で開催された標記林業まつりの実績報告及び評価・検証、次年度の対応等について協議する。 その他：関係機関・団体から構成される実行委員会の委員が参集する。</p>

6 9月期の住宅着工状況

引き続き数字は好調だが、2×4のウェイトが高まっており、年次累計では千戸未満から大幅な増加が予想される。また、大手住宅メーカーの勢いもあり、実感として地域材の荷動きが鈍いといわれる原因のようだ。地域の材料と技術を活かした住宅について、木産協製作の住宅パンフレット等を参考に戦略を練って欲しい。

1 県内新設住宅着工戸数(平成27年9月) (単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
26.1~8	2,925	1,706	875	78	266	2,766	159	2,409		1,847	83	479
9月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
5月	471	313	102	0	56	465	6	417	88.5%	330	11	76
6月	576	358	123	1	94	574	2	448	77.8%	322	15	111
7月	511	289	174	6	42	507	4	431	84.3%	305	7	119
8月	500	276	195	1	28	486	14	444	88.8%	267	8	169
9月	542	267	223	1	51	532	10	437	80.6%	279	11	147
対前	108.4%	96.7%	114.4%	100.0%	182.1%	109.5%	71.4%	98.4%	-	104.5%	137.5%	87.0%
対前年	143.8%	131.5%	175.6%	-	108.5%	148.6%	52.6%	131.6%	-	125.1%	220.0%	141.3%
26.1~当	3,302	1,909	1,002	78	313	3,124	178	2,741	83.0%	2,070	88	583
27.1~当	4,034	2,402	1,182	11	439	3,985	49	3,445	85.4%	2,360	98	987
対累計	122.2%	125.8%	118.0%	14.1%	140.3%	127.6%	27.5%	125.7%	-	114.0%	111.4%	169.3%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成27年9月) (単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累
県計	542	4,034	143.8%	122.2%	3,445
山形市	222	1,119	222.0%	122.2%	891
上山市	15	98	250.0%	188.5%	88
天章市	37	287	132.1%	115.7%	259
山辺町	4	51	40.0%	81.0%	49
中山町	1	44	100.0%	366.7%	44
・東南村山	279	1,599	192.4%	123.9%	1,331
寒河江市	5	172	20.0%	148.3%	136
河北町	7	69	350.0%	160.5%	63
西川町	0	7	-	50.0%	7
朝日町	0	7	-	33.3%	6
大江町	1	16	100.0%	106.7%	16
・西村山郡	13	271	46.4%	129.7%	228
村山市	3	81	300.0%	289.3%	77
東根市	16	299	47.1%	151.0%	266
尾花沢市	0	18	0.0%	138.5%	16
大石田町	1	34	-	680.0%	8
・北村山	20	432	54.1%	177.0%	367
村山地域	312	2,302	148.6%	132.0%	1,926
新庄市	14	89	63.6%	106.0%	85
金山町	6	11	600.0%	220.0%	11
最上町	0	3	0.0%	60.0%	3
舟形町	2	8	40.0%	53.3%	8
真室川町	2	10	200.0%	142.9%	10
大蔵村	0	5	0.0%	41.7%	5
鮭川村	0	5	0.0%	250.0%	5
戸沢村	1	4	-	133.3%	4
最上地域	25	135	69.4%	101.5%	131
米沢市	64	502	160.0%	146.8%	393
南陽市	15	121	166.7%	106.1%	118
高畠町	8	65	133.3%	130.0%	63
川西町	12	29	1200.0	69.0%	28
・東南置賜	99	717	176.8%	130.8%	602
長井市	14	103	233.3%	82.4%	89
小国町	1	10	-	125.0%	10
白鷹町	0	32	0.0%	133.3%	31
飯豊町	0	9	0.0%	36.0%	9
・西置賜	15	154	100.0%	84.6%	139
置賜地域	114	871	160.6%	119.3%	741
鶴岡市	37	321	123.3%	98.5%	302
三川町	5	16	166.7%	106.7%	16
庄内町	6	57	300.0%	96.6%	49
・田川	48	394	137.1%	98.5%	367
酒田市	43	314	204.8%	131.4%	263
遊佐町	0	18	0.0%	32.1%	17
・飽海	43	332	172.0%	112.5%	280
庄内地域	91	726	151.7%	104.5%	647

注:累計は平成27年1月~